

Barking dogs never bite™

絶対、あたしが
助けてあげる



ほえる犬は噛まない

Produced by UNO FILMS Production Directed by BONG Joon-ho Starring: LEE Sung-jae, BAE Doo-na
Funded by KDB Capital, Cinema Service Script: BONG Joon-ho, Tae-wong Derek Son, SONG Ji-ho Producer: CHO Min-whan
Cinematography: CHO Yong-gyu Lighting: PARK Jong-whan Editing: LEE Eun-soo Music: CHO Sung-woo Art: KBS Art Vision, LEE Hang
Sound: LEE Sung-chul Mixing: OH Won-chul, CHOI Tae-young, Live Tone © 2000 Mirovision Inc.
監督: ボン・ジュノ 主演: ベ・ドゥナ/イ・ソンジェ 原題: 善哉 humans 의 개 <http://www.hoeruinu.com/>
配給協力: グアバ・グアボ 配給: ファイヤーラッカー **miro GAGA** 協賛: **KOREAN AIR**



ほえる犬は噛まない

ほえる犬は噛まない【諺】=口やかましい者ほど、実行が伴わないの意

Story

迷い犬を探しています

※特徴:手術をしているため…ほえない

その事件は、中流家庭の人々が住む閑静なマンションで起きた。

飼ってはいけないはずの犬の鳴き声が日夜マンション中に響き渡り、ユンジュはとてもイライラしていた。やがて起きる小犬失踪事件。少女の愛犬ピンドリがいなくなったことをきっかけに、いつもはゆる〜い日々を過ごしていたヒョンナムの、日頃忘れていた小さな正義感に火がついてしまう。

そして、次々と現れるどこか妙な人たち。

ヒョンナムは、彼女の非力さと天然ぶりを心配する親友チャンミの警告も耳に入らず、犯人を捕まえて市民栄誉賞を受賞するためにムダの多い疾走を開始する!

Introduction

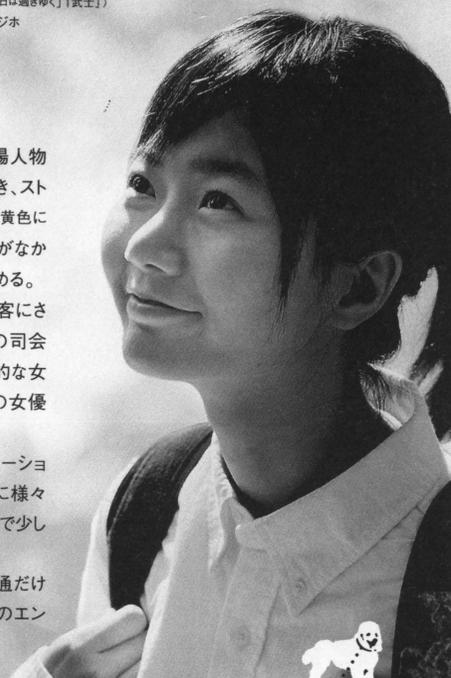
“ちょっとありえない”ような“日常”のお話

第13回東京国際映画祭をはじめ世界各国の映画祭で大反響を巻き起こし、ここ日本でも一般公開を望む声が強かった本作が満を持しての公開です。

閑静な郊外のマンションで、連続小犬失踪事件が発生する。そこに登場するのは、自分の手で犯人を捕まえようと奔走する女子事務員とその親友。いつまでも大学教授になれない夫と、甲斐性のないその夫を養う妻。いじわるそうな婆さんやうさん臭い警備員等々の愛すべきキャラクターたちが、綿密に計算された映像と全篇に流れる軽快なジャズの中を走り回る。

本作が長篇デビュー作となったボン・ジュノは386世代(60年代生まれの世代)の中でも評価が最も高い映画監督。今春公開された長篇第2作「殺人のおもいで」は、韓国で記録的な大ヒットとなった。本作では、漫画的な表現やディテールにこだわった笑いを随所に仕掛け、“日常”ではありえない奇妙な事件や、荒唐無稽な状況

を次々と創り上げている。その一方で、表向きトボケた登場人物たちの内面に秘められている感情も絶妙なバランスで描き、ストーリーが進むにつれて鮮明になっていく様々な色彩(特に黄色に注目)で感情の変化を表現している。これまで、目にした事がなかったような既存のジャンルに納まらない新しい感覚が楽しめる。元気がカラ回り気味な女子事務員ヒョンナムを演じ、観客にさわやかな印象を残すペ・ドゥナは、CM、モデル、TV番組の司会やドラマ出演など、旺盛な活動の後、本作によって本格的な女優業に転身した。韓国では「猫をお願い」(01)で数多くの女優賞を受賞し、最新作「チューブ」(02)も話題となった。「美術館の隣の動物園」(98)や「アタック・ザ・ガス・ステーション!」(99)、「エンジェル・スノー」(01)など、出演作品ごとに様々なキャラクターを演じ分けるイ・ソンジェは、本作では、気弱で少しずる賢いけどどこか憎めないユンジュ役を好演している。都会的だけれども温かく、残酷に見えるがやさしげで、普通だけれどもファンタジーな“日常”を舞台上に展開する、韓国発のエンタテインメント・ムービーをお楽しみ下さい。



とびっきりキュートでちょっぴりシュールなエンタテインメント・ムービー!!

Barking dogs never bite™

登場人物と犬たち



ヒョンナム: ペ・ドゥナ

物語の舞台となるマンションの管理事務所に勤めている。優しく正義感強いが、純粋すぎる天下のお人好し。一番の関心は市民栄誉賞を貰ってテレビに出ること。緊張するとフードをかぶる癖がある。



ユンジュ: イ・ソンジェ

出産間近の妻に養われている。うだつのあがらない大学の非常勤講師。教授になる為のワイロの工面に、日々頭を悩ます。近頃、マンション内に響き渡る犬の鳴き声に神経過敏となっている。



チャンミ: コ・スヒ

マンション敷地内の文房具店の店員。ヒョンナムの悪友でかなりのチューブスモーカー。“このアマ”が口癖。計り知れない怪力の持ち主だが、ちょっとやさしい一面も見える。



ウンシル: キム・ホジョン

ユンジュの2歳年上の妻。甲斐性のない夫に代わって家計を支えている。ユンジュに対し、いつもキツくあたっているように見えるのだが…。



ツバキ吐きばあさん: キム・ジング

ワンちゃんの飼い主。どこでもツバキを吐く癖あり。どんな状況でも“切干大根論”を熱く語る。年のワリに身のこなしが軽い。



ピョン警備員: ピョン・ヒボン

マンションの警備員。仕事をする姿よりも、ネギや食材が入った袋を下げて地下室へ向かう姿がよく目撃されている。言い逃れのための作り話には、非凡な才能を見せる。



ピンドリ

シーサー。黄色いカッパを着た少女の愛犬。小犬失踪事件の最初の犠牲者。

ワンちゃん

カステラ好きのミニチュア・ピンシャー。日頃ほえまくり、この事件の発端となる。

スンジャ

ウンシルが買ったブルドッグ。イチゴ牛乳を飲まなければ寝つけない優体な体質。

3月27日(土)ロードショー

地下鉄動物園前◎出口フェスティバルゲート7F 動物園前シネフェスタ4

◎3月下旬より、同じくボン・ジュノ監督作品「殺人の追憶」も上映決定!

TEL:06(6647)7188 www.cinefesta.com

主な出品映画祭&受賞歴

- 第19回バンクーバー映画祭 / 第46回サン・セバスチャン国際映画祭 新人監督賞コンペ部門
- 第44回ロンドン国際映画祭 / 第13回東京国際映画祭 シネマプリズム部門 / 第30回ロッテルダム国際映画祭
- 第3回フェリス国際独立映画祭 コンペ部門 / 第25回香港国際映画祭 国際映画批評家連盟受賞
- 第24回シアトル国際映画祭 アジアン・ビート部門 / 第19回ミュンヘン国際映画祭 若いアジア映画部門